

階層別選択研修（共同）

研修名	中級【コミュニケーション分野】	受講者の声		
	説明力・聞く力向上 ～円滑なコミュニケーションのために～	この研修で、話の主導権を握っているのは話し手ではなく、実は聞き手であることを学びました。 演習で講義内容を実践できたことで、少しの意識の違いで説明に大きな変化が生まれることがわかりました。		
講師	(株) 話し方研究所 ふくだ けんじ 福田 賢司	実施日数・時間	2日間	
		手法	通所研修	
		会場	自治人材開発センター	
		市町村研修コード	220～223	
ねらい	行政職員が相手のニーズに応える「コミュニケーション」を図るために、聞く力・伝える力を向上させるための手法や知識を学びます。			
対象者	【県】 次のいずれかに該当する職員 ・令和2年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員 ・令和4年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員で、令和5年4月1日現在25歳以上の職員 【市町村】 主任級以下の職員			
実施日	① 9/14(木)・9/15(金) ② 10/10(火)・10/11(水) ③ 11/16(木)・11/17(金) ④ 11/21(火)・11/22(水)			
予定人員	県80人・市町村80人（各回 県20人・市町村20人）			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	相手に応じた伝え方・聞き方 相手の意図を汲み、理解する聞き方・要約 真意を引き出す質問 行政職員に「説明力」が問われる理由	6	30	・安心と信頼を与える聞き方 ・正確に聞き取る上で障害になるもの ・要約のフレーム ・質問の目的を考える ・納得させることを視野に入れた説明 ・聞き手に依存する話し手の存在
2日 9:00 ～ 16:30	分かりやすい説明の基本 説明の効果を高める実践スキル まとめ	6	30	・話す前提を整える説明の基礎条件 ・話を構成する上で大切な4つのポイント ・予告、具体例、強調、三角ロジック、冒頭戦略等 ・状況対応説明トレーニング
特記事項	・事前課題があります。 ・県職員：人事委員会事務局が実施する主査級昇任試験の受験要件となる選択研修です。県職員のみ受講後は研修効果確認レポートの提出が必要です。			